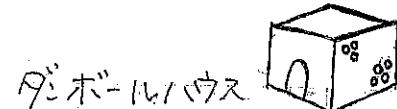


1月 しののまつり クラス便り

2023.1.30
ええまちまがりんほん



しののまつり

大きなダンボールが、あつたので保育室に置いてみると中を覗き込んだら、新しいものに興味津々の子どもたち。しかしまだつかみ自分で入ることも難しく、中に入ってどう遊んでいいか分からず出でてと手を伸ばす子どもたちでした。そこで、ダンボールを七刀って穴を開けドアのようにすると、自分で入ることが出来るようになり遊びが広がりました。安全のために(唐)リーテープを貼り子どもたちが遊びの中でシールを見失ったときに一糸繋いで上げてダンボールハウスになりました。

人が入ると次々と入ってき、上からドアから「はあ」と顔を出したり、「ぱいぱい」と手を振って中に入っていました。渠の子どもがいる一方で、周りに言葉もいなくなるとそっと入ってき、一人遊びを楽しむなり休憩の出来る場所にもなっています。

ドアからひっここと顔を覗かせたり、中から手だけが見えて思えば内側からハタチと自分でドアを開める姿がとても可愛いです。今ではダンボールを横にして出入口のところに入り座り、周りを大鼓のよう叩いてたりと新鮮な遊び方も見られ、楽しいおもちゃのひとつになっています。

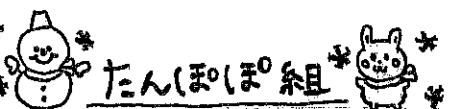
いよいよ成長のひとつとして、保育者の言葉掛けを理解し行動し、よく見られるようになりました。

(例えは、「お散歩行こうね」と言うと中島子と取りに行ったりあちと指差したり、「ご飯食べようか」と言うと気持ちが切り替わり椅子に座り、たり、「おも付けしようか」と言うとおもちゃを箱に運んで入れたないと木枠的な場面で見られます。) しかし涙が出来ることもありますが、表情や声などを見てその思いを察し受け止め、お話をしますようにしています。

いつも言葉も出てきている子どもたちもいるため、これから成長も更に楽しみです。何事にも一生懸命な姿はとても可愛いです。そのため姿をお家の方ともどんどんお話をできればいいなと思っています。

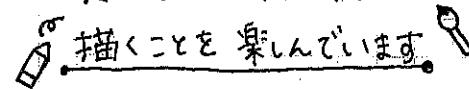
* * * * *

新しい1年を迎えることができました。コロナが大流行した年末でしたが、元気な姿で登園してきた子どもたちを見て安心しました。
今までインフルエンザが猛威を振舞っています。今日は大寒波の影響で大雪も降りました。しかし食べて早寝、早起きの規則正しい生活を心がけ、強い身体づくりをしていきたいですね。



お正月休みが終り、久しぶりに登園してきた子どもたち。どんな表情で保育園に来てくれるのか、保育者もトキドキしていましたが笑顔で保育室に入ってくる子ども、お家の方に抱き込まれ少し照れている子ども、少し不安な表情をしている子ども色々な姿を見せていました。しかし、「お食本貝ようがー!」「牛乳飲んでいいだよ! あおぼうがー!」などの声掛けで「ハイ・四」とすくりいつも通り子どもたちにとって保育園が安心の場所になってきているのかなと感じます。

寒い季節ではありますが、戸外で冬の澄んだ空気を肌で感じ、身体を動かし元気に遊んでいます。散歩先でのちょっとした段差からジャンプする、鉄棒にぶらさがる、でこぼこの道を走るなど、何気ない遊びや動きが体幹を強くししなやかな身体づくりに必要になります。子どもたちの遊びに目を向け、やりたいことを一緒に共感しながら「出来た!」とたくさん感じて嬉しいと思います。



いつも活動する前には集まって「今日何をするか!」を子どもたちに伝えているのですが、「今日はお食会描きをします!」と言ふと「やったあー」と言ふんばかりに喜んでいます。「ピンクにする!」「早くやりたい!」と机の近くの本棚の前に行列が出来ます。ペンやクレパス、絵の具を使って筆で描くなど初めて使う素材にもみんな興味を示し、上下左右に腕を動かします。また友だちと一緒に描くことを楽しむ「同じ色やねー!」と顔を見合わせニコニコしたり、トントン点を描く友だちを見て「僕も(私も)」と真似、楽しそうに「楽しい」を共有しています。進級・入園してきた時に描いた作品と見比べてみると筆圧も濃くなり紙に描くという手の重きをコントロールする力も少しずつ育っています。一人ひとりの個性や遊びのびと表現出来るように関わっていきたいと思います。



ピアノの音に合わせ、自分で身体を動かそうとする気持ち、そして、自分の身体をコントローレする力をするかを楽しめたから育んでいきたいという想いがあり、春からリズムに取り組んできたみすぐみの子どもたちですが、最初はあまり経験が無く、そんなにリズムに興味がありませんでした。けれど毎月数回、ここ最近は週1回くらいのペースでリズムを楽しむようになって、今では「リズムするよ」と言うとピアノと一緒に大喜びするようになりました。しかしピアノの音を聞き、音に合わせて身体を動かせるようにもなってきました。

少し前から「2人組」のリズムをするようになり、保育者が「ふたりぐみ!」と言うとお友だちを言葉でペアになります。

なかなかお友だちを言葉で行けますが、たり、どうしていいか分からない...とい、た姿があつたしましたが、何度も回数を重ねていくうちに2人組を作ることも早く、できました。(回のリズムでペアを替え、何回も2人組のリズムを楽しめますか、どの子どもとでも大笑いしながら楽しんでいます。

保育園で生活していく中で大切にしたい「集団づくり」の1番小さな単位である「2人」から2人組にすると楽しい!! 経験を積み重ねていきたないと想っています。そして、1人1人の姿を

意言証し、身体を動かせるリズムを子どもたちの生活の一部として、いつでもすぐに楽しめるものにしていきたいと思います。

* あれがい! 持ち物の名前が消えています。物があるで、石窓認をお願ひします。